

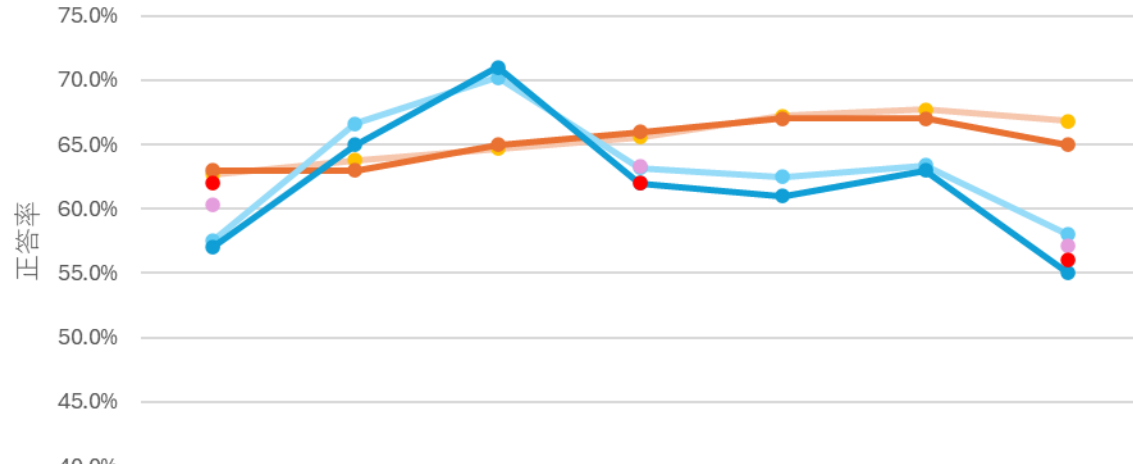
自由討議

学習面、生活面、健康面の3つの視点に加え、学年や発達段階による学習者用端末（タブレット）の活用に関して、ご意見をお聞かせください。

熊本市教育の情報化検討委員会

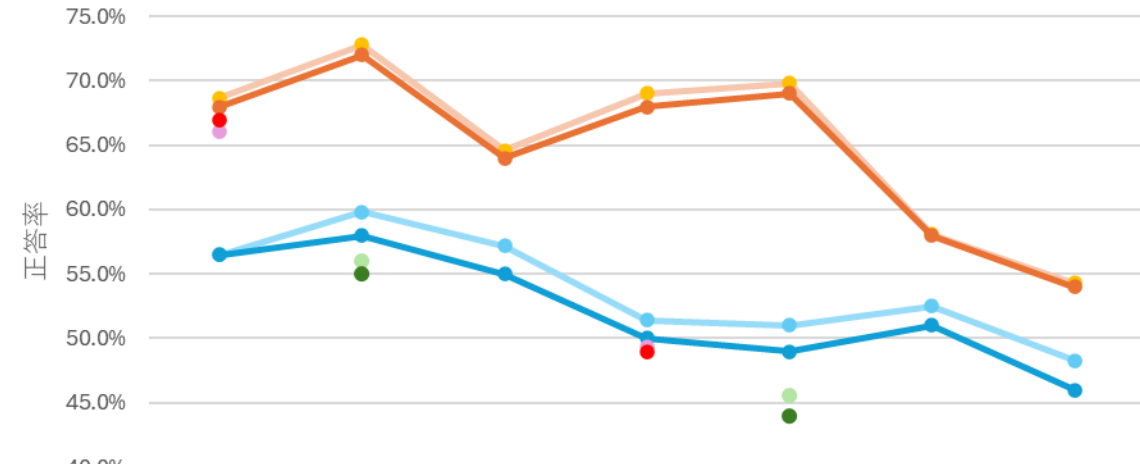
○学習面—平成30年度から令和7年度までの全国学力学習状況調査の結果

教科別の正答率_小学校



	H30	H31	R3	R4	R5	R6	R7
国語全国	62.7%	63.8%	64.7%	65.6%	67.2%	67.7%	66.8%
国語本市	63.0%	63.0%	65.0%	66.0%	67.0%	67.0%	65.0%
算数全国	57.5%	66.6%	70.2%	63.2%	62.5%	63.4%	58.0%
算数本市	57.0%	65.0%	71.0%	62.0%	61.0%	63.0%	55.0%
理科全国	60.3%			63.3%			57.1%
理科本市	62.0%			62.0%			56.0%

教科別の正答率_中学校



	H30	H31	R3	R4	R5	R6	R7
国語全国	68.7%	72.8%	64.6%	69.0%	69.8%	58.1%	54.3%
国語本市	68.0%	72.0%	64.0%	68.0%	69.0%	58.0%	54.0%
数学全国	56.5%	59.8%	57.2%	51.4%	51.0%	52.5%	48.3%
数学本市	56.5%	58.0%	55.0%	50.0%	49.0%	51.0%	46.0%
理科全国	66.1%			49.3%			50.3
理科本市	67.0%			49.0%			50.6
英語全国		56.0%			45.6%		
英語本市		55.0%			44.0%		

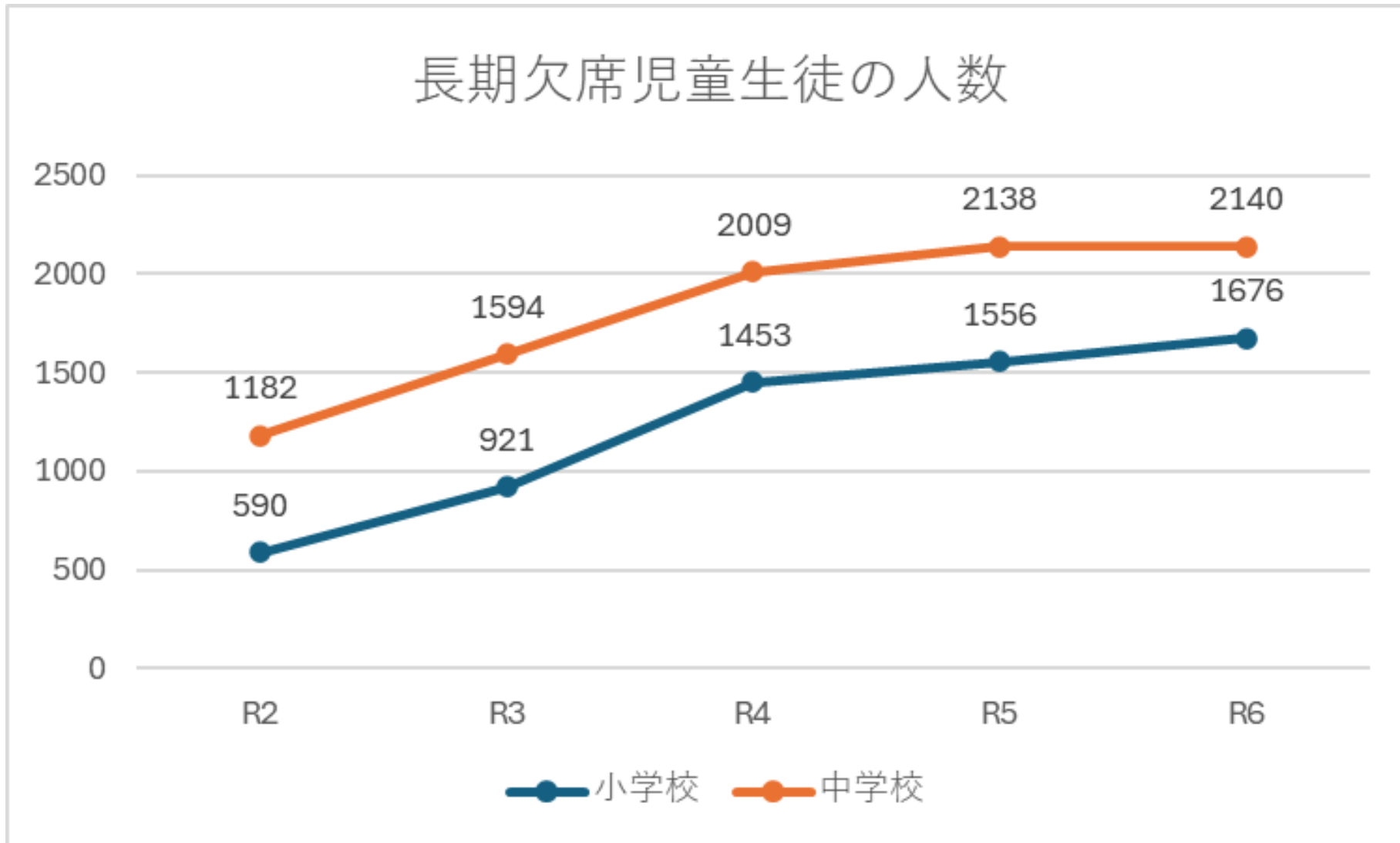
自由討議

○学習面

- ・ タブレットの活用率は良好
- ・ 児童生徒と教員ともに効力感や有用性を感じている
- ・ 教員は児童生徒の書く力や切り替えの難しさを感じている
- ・ 全国学力調査の結果をみると、横ばいもしくは下降気味

→ **さらなる授業改善（効果的な活用）の必要性がある**

○生活面—平成30年度から令和6年度まで長期欠席者の推移



自由討議

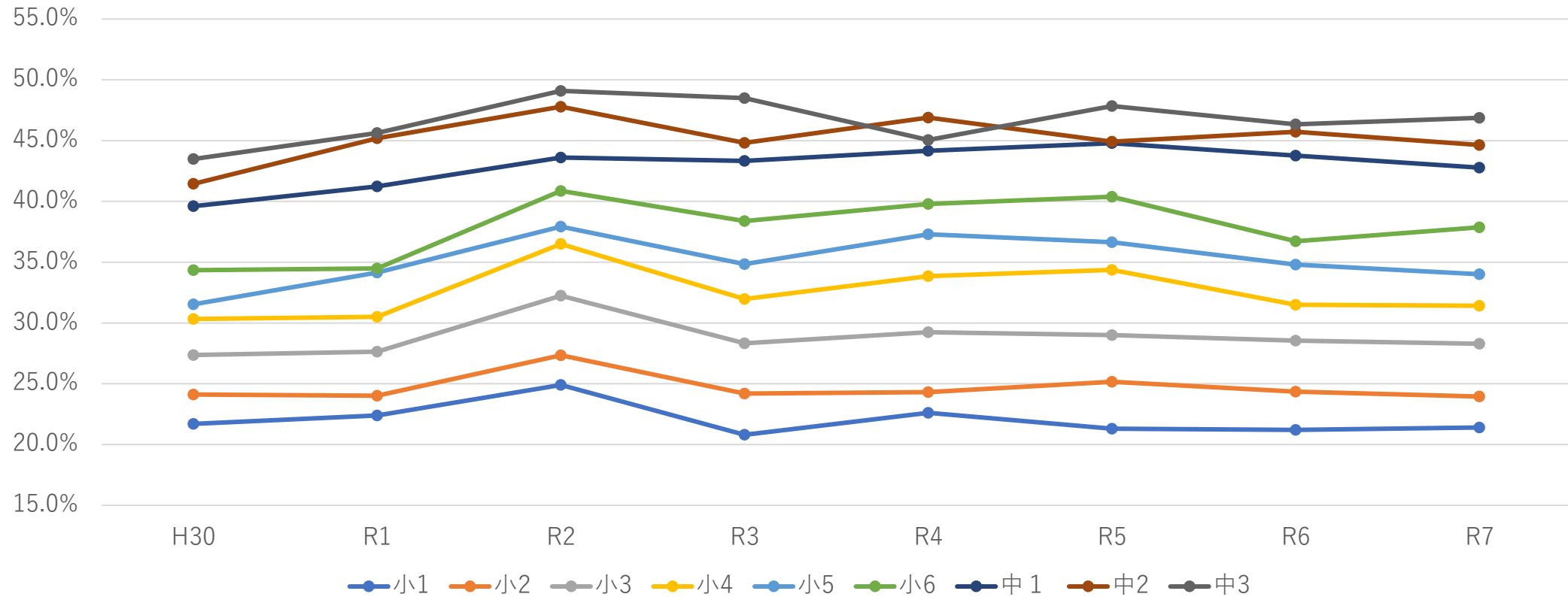
○生活面

- ・タブレットが生活面に与える影響についてはよくわからない
- ・インターネット等ができる家庭用端末を多くの児童生徒が所有し、使用時間も学習用端末と比較して多い
- ・タブレットやスマートフォン、インターネット等に関するルールが小学校90%、中学校88%にある

→ 家庭における端末の使用を含め、
使い方の指導をさらに働きかける必要性がある

○健康面—平成30年度から令和7年度までの視力の推移

視力1.0以下の児童生徒の割合



増加率

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
R7-H30	-0.3%	-0.2%	0.9%	1.1%	2.5%	3.5%	3.2%	3.2%	3.4%

自由討議

○健康面

- ・ 視力に関しては、教員の多くが影響があると感じている
- ・ 視力1.0以下の児童生徒の割合見ると極端に低下してはいない

→ 使用時間と休憩時間の取り方や姿勢等の指導の必要性がある

熊本市教育の情報化検討委員会

5 熊本市版 身につけておくべき基礎的な情報活用スキル (案)

自由討議

		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
基礎的な知識・技能	タイピング		1分間40文字程度	1分間70文字程度	1分間100文字程度
	情報検索		目的に応じて情報を検索できる。	集めた情報を整理・分析し、内容を確認したりすることができる。	集めた情報の真偽を確認したり、内容を吟味したりすることができる。
	写真の撮影と加工	写真を撮影することができる。	写真アプリを使ってトリミングすることができる。	写真アプリを使って、色の調整をすることができる。	写真アプリを使って、写真の明度や彩度、コントラストなどの調整をすることができる。
	動画の撮影と編集		Clipsを使って動画を撮影して学習に活かすことができる。	iMovieを使って、短い動画を編集することができる。	iMovieを使って、学習内容をまとめて動画に編集することができる。
	プレゼンテーション	ロイロノートを使って、見せながら説明ができる。	ロイロノートを使って、スライドを提示しながら説明できる。	Keynoteを使って、プレゼンテーションができる。	Keynoteを使って、美しく印象的に伝えるプレゼンテーションを行うことができる。
	新聞、リーフレット、レポート等		ロイロノートやPagesを使って、新聞などを作ることができる。	Pagesを使って、新聞などの文章を作ることができる。	Pagesを使って、新聞やレポートなどの筋道を立てて文章を作ることができる。
	デジタルノート、思考ツールの活用	簡単な思考ツールを使うことができる。	デジタルノート、思考ツールを使った学習ができる。	目的に応じて、デジタルノート、思考ツールを効果的に活用できる。	自分でデジタルノートや思考ツールを選んだり組み合わせたりしながら活用できる。
	録音、音楽づくり	ロイロノートで自分の朗読などを録音できる。	GarageBandを使って簡単な音楽を作ることができる。	GarageBandを使って作曲や朗読劇を作ることができる。	GarageBandを使って作曲したり、朗読と組み合わせたりすることができる。
探究スキル	身近なところから情報を収集して分類・整理し、意見をまとめて、相手に意識して、わかりやすく表現する。	調査や資料等から情報を収集し、情報同士のつながりを見つけたり、表やグラフを用いて整理する。相手に合わせて、適切に表現する。	問題を発見し、その解決のために調査や資料等から情報を収集し、情報同士のつながりを見つけたり、表やグラフを用いて整理する。問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造する。	目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組合せながら情報を収集し、目的や状況に合わせて統計的に整理したり、情報の傾向や変化を捉えて、問題の解決策を明らかにして表現・発信・創造できる。	
プログラミング	ビスケットを使って、画面上の物体を動かすことができる。	スクラッチJrを使って、動く絵本やゲームを作ることができる。	スクラッチなどを使って図形を描いたり、装置を制御したりできる。	問題を発見して課題を設定する。プログラミングによる計測・制御の仕組みを理解し、それを活用して課題の解決ができる。	
情報モラル	自分や他の人達の情報を大切に、ルールを守って安全に情報手段を使うことを理解する。コンピュータやインターネットの基本的なルールやマナーを理解する。	情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用する。生活の中での必要となる情報セキュリティを理解する。	情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用する。生活の中で必要となる情報セキュリティを理解する。情報社会での情報技術の働きや産業や国民生活の関わりを理解する。	情報手段の利便性と危険性を理解し、自分や他の人への影響を考えて適切に使用する。生活の中で必要となる情報セキュリティを理解する。情報や情報技術を多様な観点から考えることによって、よりよい生活や持続可能な社会の構築に生かそうとする。	

自由討議

○発達段階による違い

- ・ 学年や発達段階において、使用頻度や使用方法を変える必要があるか

→ 学年が上がるにつれて、操作の習熟度や活用の質を向上させる必要性がある

※熊本市版ICT教育モデルカリキュラムを作成・改訂

タブレット端末の重量の比較

端末	本体	カバー	持ち運び重量	外付け キーボード
新端末 iPad10世代	481g	570g	1,051g	—
Chromebook	約1,100～ 1,300g	—	約1,100～ 1,300g	—
Windows タブレット	約1,000～ 1,300g	—	約1,000～ 1,300g	—
旧端末 iPad6世代	478g	250g	728g	285g
旧端末 iPad7世代	493g	220g	713g	

自由討議

○その他

- ・ 児童生徒において、タブレットの持ち運びが重いという意見が多い
- 令和7年度からの新端末は、キーボード付きのケースを採用しているため、以前の端末より重いが、ほかの種類と比較すると軽い